



## カタログの重さ大きさ春が来た

山本 賜

春らしい色柄の洋服や靴、インテリアのご案内に、デパートがパンフレットになって届いたような気分。有難いんだけど全部見ると肩が凝るのよね。



## 日向ぼこする人は皆親日派

堀川明子

親日というから政治の話かと思わせるところが巧いね。するてえと、「お日様に背を向けてゐる反日派横向いている日和見派」。



## 二月は逃げる三月は去る爺老ける

泉 宗鶴

およそ優れた文芸にはドラマがある。俳句とてのんべんだらりと当たり前では価値がない。この句は下五の転換で見事な文芸となった。



## 去年今年自分に付ける通信簿

久我正明

この一年を総括して点数をつけてみる。自己肯定と自己否定をない混ぜにしつつ、自らにご苦労様と言うのか叱り飛ばすのか。



## 寒月光女がヒールを履く理由

桑田愛子

寒月光の夜道をハイヒールの女がコツコツと音を立てながら足早に歩いている。モノクロの映像がかえって読者に情景を想像させる。



## 細指のピアノシモから春立ちぬ

上山美穂

ピアノシモで春が始まり、春爛漫の頃にはフォルテシモのきらびやかさがある。細指が描くピアノの音の世界。音で季節を表現したところが斬新。